

## 第142回 BA エグゼクティブサロン概要（4/15）

テーマ：「高齢社会に対応したヘルスケア分野での ICT 活用」

講師：山田 肇（やまだ はじめ）

東洋大学名誉教授、特定非営利活動法人情報通信政策  
フォーラム理事長

### 卓話概要：

高齢者の健康問題に対応するため、健康・医療・介護のヘルスケア分野で ICT 活用が進展しつつある。

健康診断結果と ICT で取得した日常生活情報を元に、健康指導を実施して病気の発症を抑える技術がある。スマートウォッチが心電図を測定し、早期に心疾患を検出するのも可能になっている。介護施設の業務を AI が支援するシステムも運用が始まっている。

高齢者の身体認知機能に合わせて ICT を提供することで、ヘルスケアの効果は高まり、効率が上がると期待されている。世界全体で人口の高齢化が進行しているため、これは大きなビジネスに発展するチャンスである。

一方で、実用化には ICT が取得した個人情報をどのように保護するか、AI が下した判断にどのように責任を取るのが適切かなど、法律や規制と関連する課題がある。実用化には規制改革が求められる。

本講演では、ヘルスケア分野での ICT 活用について、実証実験や規制改革の動向を含めて紹介する。

### 略歴：

東洋大学名誉教授、特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム理事長、コンサルタント。科学技術振興機構社会技術研究開発センタ「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発領域総括。高齢社会対応標準化国内委員会委員長、IEC SyC AAL 日本代表、ISO TC 314 日本代表。編著「情報アクセシビリティ：やさしい情報社会に向けて」（NTT 出版）など著書多数。

